

巻 頭 言

図書館長 下 間 正 隆

本学の建つこの地は、林や池に囲まれた自然豊かなところでは、

15年前に丘陵を削り、洗練されたデザインの本学が建設され、立派にハード面が整えられました。

しかし、昨年まで四季の彩りで癒しを与えてくれていた東側の緑の丘は、今、太陽光パネルを設置するため無残に削られ、赤茶けた地肌がむき出しになっています。

自然に囲まれた本学にも時代の波が押し寄せて、大海を知らずに過ごすわけにはいられません。

本学は赤十字の理念に基づいて、世の中の役に立つ看護人材を輩出することが大切です。

現在、国内に看護大学としての需要は旺盛にありますが、世の中に必要とされる看護大学であるためには、大学教員の活性度合を示す本誌もまた重要です。

今回本誌には、論文8編が掲載されています。

本誌は学術誌としてはもとより、各領域の日々の活動の記録としても価値あるものです。例えば「看護教育」に関して一つのテーマを掲げて、各領域からそれぞれの取り組みや研究を紹介していただく特集を掲載するのも良いかもしれません。

本誌の論文が、他の論文に数多く引用され、今後、益々、社会に貢献する紀要へと発展していくことを祈る次第です。